

# 平成30年度当初予算(案)

平成30年2月7日

## 1. 当初予算(案)の概要

**一般会計予算額 732,980,000千円**

(H29当初予算比 +8,417,000千円 +1.2%の増)

【参考】 H29予算額 : 724,563,000千円 +0.4%

### (1) 歳入関係

・ 県 税 収 入	2,480億円	(H29 2,350億円	+ 5.5%)
・ 地方消費税清算金	770億円	( " 735億円	+ 4.7%)
・ 地方交付税	1,241億円	( " 1,150億円	+ 7.9%)
・ 県債発行額	1,043億円	( " 1,185億円	▲11.9%)
┌ 臨時財政対策債	464億円	( " 460億円	+ 0.9%)
└ 退職手当債	32億円	( " 60億円	▲46.7%)
┌ 通常債	547億円	( " 509億円	+ 7.5%)
・ 財政調整・減債基金繰入金	119億円	( " 140億円	▲15.0%)
・ 地域福祉基金繰入金	10億円	( " —	皆 増)
・ コンベンション基金繰入金	5億円	( " —	皆 増)

### (2) 歳出関係

・ 人 件 費	2,211億円	(H29 2,253億円	▲ 1.8%)
・ 公 債 費	1,053億円	( " 1,062億円	▲ 0.9%)
・ 税関係交付金等	925億円	( " 875億円	+ 5.7%)
・ 社会保障関係費	998億円	( " 972億円	+ 2.7%)
・ 投資的経費	1,111億円	( " 1,066億円	+ 4.2%)
┌ コンベンション施設整備	108億円	( " 13億円	+ 753%)
└ 県有施設等長寿命化事業	20億円	( " 20億円	± 0.0%)
・ 公共事業費	781億円	( " 824億円	▲ 5.2%)
┌ 補助公共	231億円	( " 235億円	▲ 1.7%)
└ 単独公共	550億円	( " 589億円	▲ 6.6%)
┌ 交付金事業	327億円	( " 360億円	▲ 9.2%)
└ 純単独事業	223億円	( " 229億円	▲ 2.5%)

### (3) 財政調整基金

- ・ 災害発生時等の緊急な財政出動に備えるため、残高10億円を確保

### (4) 県債残高見込 (臨時財政対策債除き)

・ H30年度末 6,879億円 (H29年度末 6,937億円 ▲58億円)

※ 臨時財政対策債も含む場合

1兆2,426億円 (H29年度末 1兆2,322億円 +104億円)

## 2. 予算編成に当たっての背景

### ◎ わが国経済の最近の動向

わが国の景気は、緩やかに回復している。個人消費は持ち直しており、完全失業率や雇用者数など雇用情勢は着実に改善している。

また、企業収益については製造業を中心に改善し、大企業だけでなく中小企業においても改善が見られる。企業の業況判断についても全規模全産業で改善している。

先行きについても雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復が続くことが期待されている。

### ◎ 本県経済の状況

県内経済の状況は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、輸送機械が高水準で推移しているほか、汎用機械等が増加していることから回復しつつある。また、企業収益は増益見込みとなっているほか、住宅建設や公共事業は前年度を上回っている。個人消費は、緩やかに持ち直している。

県内の雇用情勢は、引き続き堅調な動きを示しており、平成29年12月の有効求人倍率は、1.66倍となっている。

### ◎ 本県の財政状況

県税収入については、平成29年度は、自動車関連産業を中心に企業業績の改善が想定を上回っていることなどから、現計予算額を70億円程度上回る、2,420億円程度を確保できる見通しとなっている。平成30年度についても、引き続き好調な企業業績が見込まれることから、2,480億円と見込んだが、税制改正の影響もあり、平成28年度決算額には届かない状況である。

地方交付税と臨時財政対策債とを合わせた実質的な交付税についても一定の増額が期待できるものの、その他の歳入においては退職手当債の発行可能額が減少していることや、基金残高の大幅な減少が続いている。

歳出面では、将来に向けて必要な社会資本整備については、世代間負担の公平性の観点から一定程度の県債の活用が図れるが、社会保障関係経費については年々増え続けており、政策的な経費に使える財源の確保は厳しい状況にある。

## 3. 予算編成に当たっての基本方針

### ◎ 基本的な考え方

予算編成に当たっては、平成27年度に策定した県総合計画及び県版総合戦略を着実に推進するため、既存事業の見直しを徹底し、県民にとって真に必要な施策について、限られた財源を重点的・効率的に配分することにより、本県の未来創生に向けて積極的に取り組むこととした。

特に、2年後の開所に向けた群馬コンベンションセンター「Gメッセ群馬」整備と、本体工事完成が間近となった八ッ場ダム建設にともなう生活再建を着実に進めつつ、総合計画に掲げた「人づくり」「安全安心な暮らしづくり」「産業活力の向上・社会基盤づくり」を推進する施策について検討を進めてきた。

このような考え方に立って、平成30年度当初予算「**群馬の未来創生予算Ⅱ**」を編成した。

## ◎予算編成の柱

### (1) 地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり

#### ① 群馬の未来を担う子ども・若者の育成

- ・ 再編整備計画に基づき、桐生高校と桐生女子高校、桐生南高校と桐生西高校を統合し、平成33年4月に新たな高校として開校するため、必要な施設整備を進める。
- ・ 手狭となっている東部児童相談所を移転整備して相談体制を強化するとともに、一時保護所（定員30名）を新たに併設することで、中央児童相談所一時保護所（定員36名）において定員超過が常態化している状況の解消を図る。
- ・ 子どもの居場所づくりに取り組む人材の研修や、民間団体による子ども食堂や無料学習塾の立ち上げ等の支援を行う。
- ・ 児童養護施設等を退所する児童や、既に退所した者に対する生活相談や就労相談等により自立支援を強化する社会的養護自立支援や、様々な事情で養育が必要な児童を預かって家庭的な環境で養育する里親を増やすための里親委託等推進強化を行う。

#### ② 群馬の飛躍と地域の安心を支える職業人材の育成

- ・ 特定診療科での医師不足を解消するため、医師確保修学研修資金の貸与対象診療科に総合診療を追加するほか、地域医療支援センターにおいて、各地域における適正な医師配置の取組を進める。
- ・ 看護師を目指す学生に対して実施している看護職員修学資金について、通信制養成所の在学者に貸与を開始するとともに、一定期間勤務することで返還免除となる施設に介護老人福祉施設を追加する。
- ・ 介護人材確保対策として、修学資金の貸与月額を3万6千円から5万円に引き上げるほか、中高生や留学生等を対象にした進路相談や職場体験などを実施する養成校等を支援する。また、福祉職等合同入職式を開催し、施設や事業所の垣根を越えた交流とネットワークづくりを支援する。

#### ③ 交流・移住・定着促進

- ・ 動画や画像等を活用したWeb媒体でのプロモーションにより、若年層への情報発信を強化するとともに、ぐんま暮らし支援センター（東京有楽町交通会館内）で、本県での暮らしに関する情報と、就職情報を一元的に提供し、本県への移住を促進する。
- ・ 若者就職支援センター（ジョブカフェぐんま）の運営を通じて、カウンセリングから職業紹介、就職後のフォローアップまで、ワンストップによる若者の県内就職や職場定着を支援する。

#### ④ 家族の理想実現

- ・ 新婚の低所得世帯を支援する結婚新生活支援や、当県の子育て環境の優位性をPRする冊子を作成するなど、総合的な少子化対策を推進する。

- ・ 社会全体で子育てを支援し、安心して子どもを育てられる環境を整えるため、民間保育所等の運営費や認定こども園整備のための施設改修等を支援するなど、**子ども・子育て支援事業**を実施する。
- ・ 子育て世帯の経済的負担を軽減するため、中学校卒業までの**子ども医療費の無料化**や、**第3子以降の3歳未満児の保育料無料化**を継続して実施する。
- ・ **働きやすい職場環境づくり**を進めるため、働き方改革の具体的な取組方法や優良事例等をまとめた実践ガイドを作成するとともに、商工会議所・商工会の経営指導員等を対象に研修会を開催する。

## ⑤ 多様な人材の活躍応援

- ・ **特別支援学校**に配置する看護師を増員し、平成30年4月からすべての地域で重複障害のある児童生徒を受け入れるとともに、**医療的ケア**の必要な児童生徒の増加に対応する。また、一部の特別支援学校で行われている保護者待機を解消する。
- ・ **特別支援学校高等部未設置地域**である沼田、藤岡、富岡、吾妻の4地域において、平成30年4月から生徒の受入を開始する。また、4地域それぞれに必要な新校舎等の整備を進める。
- ・ 特別支援学校生の就労を促進するため、鹿革加工や農業など地域の特色ある環境を活かした新たな作業種を導入する。また、農業者向けの研修会開催や農業者と障害者のマッチングをJAに委託するなど**農福連携**を推進する。
- ・ **障害者雇用フェア**（仮称）を開催し、障害者や障害者雇用への理解を広めるほか、企業経営者に理解を深めてもらうため**障害者雇用促進トップセミナー**の回数を増やして実施する。

## (2) 誰もが安全で安心できる暮らしづくり

### ⑥ 安心な暮らし実現

- ・ **特殊詐欺対策**について、電話機に取り付けて通話を自動録音する装置を高齢者世帯に貸し出したり、無人ATMに音声ガイダンス付きの啓発パネルを設置するなど、関係団体と連携して様々な対策を講じる。
- ・ 局地的集中豪雨や台風などによる災害の未然防止や被害軽減を図るため、ソフト・ハード両面からの**道路防災や治水対策、土砂災害対策**を推進する。
- ・ 高崎警察署の管轄区域を分割して新設予定の**高崎北警察署**（仮称）について、建設工事に向けた基本・実施設計を進める（平成34年4月開署予定）。
- ・ 老朽化が進行する県有施設や県立学校施設について、屋上防水改修、空調設備更新など、計画的な維持修繕を行うことで、**施設の長寿命化**を図る。

### ⑦ 医療・福祉連携による優しいぐんま推進

- ・ 第7期高齢者保健福祉計画に基づき、**地域密着型特別養護老人ホーム**等の整備を進め

るとともに、**広域型特別養護老人ホーム**の施設整備に対し補助する。

- ・ 高齢者の自立に向けたケアプランを作成するために市町村が開催する「自立支援型地域ケア会議」にアドバイザーや理学療法士等の専門職を派遣したり、市町村トップセミナーの開催を通じて、高齢者の自立支援や重度化防止の取組を強化するなど、市町村や関係団体等と連携しながら**地域包括ケアシステム**を推進する。
- ・ **認知症施策の推進**として、市町村における認知症サポーターの養成や市民後見人の育成を支援するとともに、認知症への対応力を向上させる医療従事者向け研修を開催するなど、認知症に対する理解促進や早期診断、高齢者等の権利擁護などを進める取組を実施する。
- ・ 県民が生涯にわたり健康な生活を送れるよう、歩くことを楽しむための「ぐんま元気アプリ」の製作や、糖尿病予防指導プログラムの開発など、**健康寿命の延伸対策**を強化する。
- ・ 重度心身障害児（者）の訪問看護支援事業を充実し、在宅で介護する家族のレスパイト時間を確保するなど、**医療的ケア児等を支援**する取組を強化する。
- ・ 平成30年度から、市町村とともに県が**国民健康保険**の運営を行うため、**特別会計**を設置する。

### ⑧ **優れた群馬の環境の保全・継承**

- ・ イノシシやシカなどの**有害鳥獣**について、農林業被害や市街地出没による事故を軽減するため、鳥獣保護区内での捕獲強化や侵入防止柵の設置に対する支援、有害鳥獣の移動経路となっている河川の伐木、刈り払いの集中的な実施など、関係者が連携しながら様々な対策を実施する。
- ・ 有害鳥獣捕獲の担い手を確保・育成するため、安中市内にあるクレー射撃場に、新たに**ライフル射撃場を整備**する。
- ・ 市町村が実施する**汚水処理施設整備**に対する補助を実施するとともに、個人が行う流域関連公共下水道への排水設備工事に対して、継続して、市町村と連携し補助を行う。

### ⑨ **地域住民がともに助け合う「地域力」強化**

- ・ 消防団員の減少が続く中、近年増加傾向にある**学生団員のさらなる入団促進**のため、県内2大学の学園祭に消防団員募集ブースを出展する。
- ・ 県内市町村の「**地域おこし協力隊**」の募集情報を一括して発信するとともに、県内隊員の情報交換会や研修会などを実施する。また、任期終了後の起業や地域への定着を支援するためのアドバイザー派遣などを実施する。

## **(3) 産業活力の向上・社会基盤づくり**

### ⑩ **群馬の未来を見据えた経済・雇用戦略**

- ・ 本県の優れた拠点性を活かして、県内産業のさらなる発展や新たな産業の創出、若者

や女性の雇用創出を図るため、群馬コンベンションセンター「Gメッセ群馬」の建設工事を推進する。また、指定管理者の選定など、平成32年度の開所に向け準備を進めるとともに、コンベンションの誘致活動を展開する。

- ・ **農畜産物等の販路拡大**を推進するため、欧州でのプロモーションや東南アジア向けの青果物輸出促進に引き続き取り組むとともに、新たにジェットロと連携したバイヤー招へい商談会等を実施する。
- ・ 商工団体、金融機関等と連携し、事業承継診断や中小企業診断士による適切な支援を行うなど、県内中小企業の円滑な**事業承継**を支援する。
- ・ 東アジアやASEAN諸国、オーストラリアを中心に、外国語パンフレットの作成や旅行博への出展などによる**海外セールスプロモーション**を実施し、**外国人誘客**を図る。

### ⑪ **群馬の産業の強みを活かす戦略**

- ・ 「**林業県ぐんま**」への飛躍を目指し、施業の集約化や路網整備、高性能林業機械等の導入を支援する。また、新たに**県産材流通改革促進対策**として、森林組合等の供給者と製材工場等の需要者との需給調整や原木の仕分等に係る経費を助成し、直送販売を促進する。
- ・ 認定農業者や農業団体等の設備や機械の導入を支援する「**野菜王国・ぐんま**」の取組や、消費者の視点を重視した**県産農畜産物ブランド力強化対策**などにより、県内農業のさらなる振興を支援する。
- ・ 外部専門家を活用した付加価値の高いシルク製品の開発を支援することや、通信販売事業者と連携した県産シルク製品のPRなどにより、**県産シルクのブランド力向上**に取り組む。
- ・ リピーター獲得をねらった教育旅行の推進や、周遊観光パスポートの実施、栃木・茨城と連携したJTB全国キャンペーン「日本の旬 北関東」の支援など、**県域DMO**である**県観光物産国際協会**と連携して**魅力ある観光地域づくり**を推進する。
- ・ **制度融資**により、中小企業を金融面から支援するほか、商工会、商工会議所及び産業支援機構による経営相談など、きめ細かな支援を行う。

### ⑫ **豊かな文化・魅力を活かしたイメージアップ**

- ・ 移転後の**ぐんま総合情報センター**（ぐんまちゃん家）において、従前からのパブリシティ活動や物産販売などに加えて、季節ごとの「**群馬の食**」を提供することとし、食を通じた群馬の魅力をPRする。
- ・ 世界遺産構成4資産などの情報発信や解説及び調査研究を行うため、上州富岡駅前の富岡倉庫内に**世界遺産センター**を設置する。
- ・ 黒井峯遺跡において、当時の村の様子をAR技術によりスマホ等で視覚的に再現できるようにするほか、県内出土埴輪の人気投票などにより、**東国文化の周知**を進める。また、ユネスコ「世界の記憶」に登録された**上野三碑**について、高崎市と連携して県内外にその価値を発信する。
- ・ **ぐんま県境稜線トレイル**について、未開通部分の整備や既設登山道の再整備による安全対策を進め、周辺の温泉地等と組み合わせたPRを行う。また、8月11日の山の日

には全線開通を記念するイベントを実施する。

- ・ 県のスポーツ水準を高め、国体等で優秀な成績を収められるよう**競技力向上対策**に取り組むほか、2028国体・全国障害者スポーツ大会で活躍が期待される世代の子どもとその家族を対象とした親子スポーツ教室や運動能力の適性診断など、**目指せ！未来のアスリートわくわく運動プロジェクト**を実施する。

### ⑬ 群馬の未来を支える社会基盤づくり

- ・ 高速交通網の効果を最大限に活かすため、アクセス道路となる「**7つの交通軸**」を、引き続き重点的、計画的に整備する。
- ・ 平成31年度完成に向けて本体工事が進められている**ハッ場ダム**について、建設事業に対する負担金を予算計上するとともに、生活再建に向けた事業を着実に推進する。
- ・ 地域の重要な移動手段である**バスや鉄道の維持・活性化**のため、路線バスの乗り換え検索サービスの充実や、県内バスへの交通系ICカードの導入検討などを実施する。また、県、沿線市町村、鉄道事業者が協力して、利用促進のためのアクションプログラムを策定する。

## (4) 県政改革の推進

- ・ 平成27年度に策定した「**総合計画**」及び「**群馬版総合戦略**」について、外部有識者による評価・検証を受け、しっかりと進行管理しながら着実に推進する。
- ・ 県立大学の計画的かつ自主・自立的な運営を図るため、**公立大学法人を設置**し、女子大学及び県民健康科学大学の運営を移行する。
- ・ Gメッセ群馬をはじめ、県内全域へのコンベンション誘致活動をより強力に推進し、県内産業の活性化や新たな雇用の場の創出を図るため、企画部コンベンション推進課を発展的に改組し、産業経済部に「**コンベンション推進局**」を設置するなど、総合計画に掲げる目標の実現に向け、施策を着実に推進するための体制を整備する。

## 4. 重点施策

### (1)群馬コンベンションセンター「Gメッセ群馬」整備の推進

### (2)ハッ場ダム建設にともなう生活再建の推進

### (3)地域を支え、経済・社会活動を支える人づくり

#### ① 群馬の未来を担う子ども・若者の育成

- ・公立大学法人運営費交付金（新規）
- ・私立学校教育振興費補助
- ・桐生・みどり地区新高校整備（新規）
- ・県立高等学校等空調設備整備
- ・次代を担う職業人材育成のための教育設備充実
- ・ぐんま少人数クラスプロジェクト
- ・学びと家庭のサポート事業（一部新規）
- ・スクールカウンセラー配置
- ・教員多忙化解消（新規）
- ・県立図書館資料整備
- ・子どもの居場所づくりの推進（一部新規）
- ・教育・保育のキャリアアップ研修
- ・高校中退者訪問支援
- ・東部児童相談所の移転整備
- ・社会的養護自立支援（新規）
- ・里親委託等推進強化（新規）
- ・ひとり親家庭学習支援（新規）

#### ② 群馬の飛躍と地域の安心を支える職業人材の育成

- ・医師確保対策（一部新規）
- ・看護職員修学資金貸与（一部新規）
- ・介護人材確保対策（一部新規）

#### ③ 交流・移住・定着促進

- ・ぐんま暮らし支援
- ・若者就職支援

#### ④ 家族の理想実現

- ・総合的な少子化対策推進（一部新規）
- ・子ども医療費補助
- ・子ども・子育て支援事業費
- ・第3子以降3歳未満児保育料免除
- ・働きやすい職場環境づくり（一部新規）

#### ⑤ 多様な人材の活躍応援

- ・沼田特別支援学校整備
- ・特別支援学校高等部整備
- ・重複障害生徒受入整備
- ・特別支援学校医療的ケア推進
- ・特別支援学校作業学習充実
- ・県立特別支援学校へのスクールバス導入
- ・農福連携推進（新規）
- ・働く女性の活躍推進
- ・障害者雇用促進強化対策（一部新規）
- ・外国人材活用支援（一部新規）
- ・離職者等再就職訓練

### (4)誰もが安全で安心できる暮らしづくり

#### ⑥ 安全な暮らし実現

- ・再犯防止推進計画策定（新規）
- ・振り込め詐欺等根絶対策（一部新規）
- ・DV被害者等支援
- ・防災情報通信ネットワークシステム更新整備実施設計
- ・造林・間伐の推進、治山事業
- ・災害に強い県土を築く防災・減災対策
- ・県有施設長寿命化推進
- ・県庁舎等の劣化診断及び長期保全計画策定
- ・高崎北警察署（仮称）新設整備
- ・太田警察署高林交番新築整備（新規）
- ・交通安全施設整備（一部新規）
- ・車両捜査支援システム路上装置更新（新規）

#### ⑦ 医療・福祉連携による優しいぐんま推進

- ・「我が事・丸ごと」の地域づくり推進（新規）
- ・地域包括ケアの推進（一部新規）
- ・病床の機能分化・連携推進
- ・地域密着型介護拠点等整備・開設準備経費補助
- ・老人福祉施設整備費補助
- ・認知症施策の推進（一部新規）
- ・肝がん・重度肝硬変治療研究促進（新規）
- ・健康寿命延伸対策（一部新規）
- ・障害児者施設整備
- ・医療的ケア児等支援強化（一部新規）
- ・福祉医療費補助
- ・国民健康保険特別会計の設置（新規）
- ・精神医療センター磁気刺激装置導入



## ⑧ 優れた群馬の環境の保全・継承

- ・ライフル射撃場整備推進
- ・ぐんま緑の県民基金事業
- ・有害鳥獣対策（一部新規）
- ・汚水処理施設整備費補助
- ・四万発電所の全設備更新（新規）

- ・群馬コンベンションセンター太陽光発電所建設（新規）

## ⑨ 地域住民がともに助け合う「地域力」強化

- ・地域調整費
- ・学園祭での消防団員確保活動（新規）
- ・地域おこし協力隊の活動・定住支援

## (5) 産業活力の向上・社会基盤づくり

### ⑩ 群馬の未来を見据えた経済・雇用戦略

- ・コンベンション施設整備
- ・コンベンション推進
- ・農畜産物等輸出促進（一部新規）
- ・企業誘致推進補助金
- ・事業承継支援（新規）
- ・中小企業の海外ビジネス支援（一部新規）
- ・ロボット導入促進（新規）
- ・EV関連技術人材育成（新規）
- ・海外セールスプロモーション
- ・産業団地等整備

- ・ものづくり技術高度化支援（新規）
- ・ぐんまの地場産業振興プロジェクト（一部新規）
- ・魅力ある観光地域づくり推進（一部新規）
- ・千客万来支援（一部新規）
- ・山と歴史のぐんま観光（一部新規）
- ・ググっとぐんま観光キャンペーン
- ・企業局から一般会計への繰出（ぐんま未来創生基金積立）

### ⑪ 群馬の産業の強みを活かす戦略

- ・林業・木材産業構造改革
- ・ぐんまの木で家づくり支援
- ・県産材流通改革促進対策（新規）
- ・林道・作業道等の整備
- ・担い手への農地集積・集約化
- ・はばたけ「ぐんまの担い手」支援
- ・新規就農者確保・就農促進対策
- ・「野菜王国・ぐんま」総合対策
- ・野菜価格安定（野菜生産出荷安定資金造成費補助）
- ・台中フローラ世界博覧会出展（新規）
- ・蚕糸業継承対策
- ・県産シルクブランド力向上支援（新規）
- ・県産農畜産物ブランド力強化対策
- ・畜産競争力強化整備
- ・浅間家畜育成牧場草地及び畜産施設整備
- ・農業生産基盤整備の推進等
- ・多面的機能支払
- ・小規模農村整備
- ・小規模事業経営支援事業費補助
- ・〈中小企業振興資金特別会計〉制度融資

### ⑫ 豊かな文化・魅力を活かしたイメージアップ

- ・ぐんまのイメージアップ（一部新規）
- ・ぐんま総合情報センター運営
- ・世界遺産センター整備・運営
- ・文化財保存事業費補助
- ・魅せる群馬の文化応援（新規）
- ・東国文化周知（一部新規）
- ・「世界の記憶」上野三碑周知（一部新規）
- ・戦略的文化芸術創造（新規）
- ・群馬交響楽団支援（一部新規）
- ・「歴史の道」活用促進（新規）
- ・県民会館改修
- ・総合スポーツセンターアーチェリー場整備（新規）
- ・稜線トレイル活用推進（一部新規）
- ・市町村有競技別拠点スポーツ施設整備事業費補助金
- ・競技力向上対策・目指せ！未来のアスリートわくわく運動プロジェクト（一部新規）
- ・全国高校総体事務局運営・実行委員会補助
- ・県営ゴルフ場クラブハウス整備

### ⑬ 群馬の未来を支える社会基盤づくり

- ・道路ネットワークの構築
- ・交通まちづくり戦略推進（新規）
- ・ステーション整備
- ・ハッ場ダム関連

## (6) 県政改革の推進

- ・総合計画・総合戦略推進

- ・群馬の未来を創生するための体制整備（組織の見直し）

## 5. 財源構成

区 分	平成30年度 当初予算額 ※( )内は構成比 千円	平成29年度 当初予算額 ※( )内は構成比 千円	対前年比較		備 考	
			千円	増減比率 %		
県 税	(33.8%) 248,000,000	(32.4%) 235,000,000	+13,000,000	+5.5		
地方消費税清算金	(10.5%) 77,005,488	(10.1%) 73,530,000	+3,475,488	+4.7		
地方譲与税	(4.7%) 34,600,000	(4.7%) 33,900,000	+700,000	+2.1		
地方交付税	(16.9%) 124,100,000	(15.9%) 115,000,000	+9,100,000	+7.9		
地方特例交付金 交通安全対策交付金	(0.3%) 1,900,000	(0.2%) 1,800,000	+100,000	+5.6		
国庫支出金	(10.9%) 80,247,763	(11.6%) 83,849,005	▲3,601,242	▲4.3		
県 債	(14.2%) 104,341,000	(16.4%) 118,500,000	▲14,159,000	▲11.9		
臨時財政対策債	(6.3%) 46,400,000	(6.3%) 46,000,000	+400,000	+0.9		
退職手当債	(0.4%) 3,200,000	(0.8%) 6,000,000	▲2,800,000	▲46.7		
減収補てん債	(0.0%)	(2.2%) 15,600,000	▲15,600,000	皆減		
通 常 債	(7.5%) 54,741,000	(7.0%) 50,900,000	+3,841,000	+7.5		
財政調整基金・ 減債基金繰入金	(1.6%) 11,900,000	(1.9%) 14,000,000	▲2,100,000	▲15.0	・財政調整基金 96億円 ・減債基金 23億円	
地域福祉基金・ コンベンション基金繰入金	(0.2%) 1,500,000	(0.0%)	+1,500,000	皆増	・地域福祉基金 10億円 ・コンベンション基金 5億円	
そ の 他	(6.7%) 49,385,749	(6.8%) 48,983,995	+401,754	+0.8	・「諸収入」、「使用料・手数料」、 「分担金・負担金」など	
合 計	(100.0%) 732,980,000	(100.0%) 724,563,000	+8,417,000	+1.2		
内 訳	自主財源	(52.9%) 387,791,237	(51.3%) 371,513,995	+16,277,242	+4.4	・「県税」、「地方消費税清算金」、 「繰入金」、「その他」の合計
	依存財源	(47.1%) 345,188,763	(48.7%) 353,049,005	▲7,860,242	▲2.2	・「地方譲与税」、「地方交付税」、 「地方特例交付金」、「交通安全 対策交付金」、「国庫支出金」、 「県債」の合計

(注) 1 計数整理の結果、異動することがあります。

2 構成比は、表示単位未満の四捨五入の関係で、合計と一致しない場合があります。

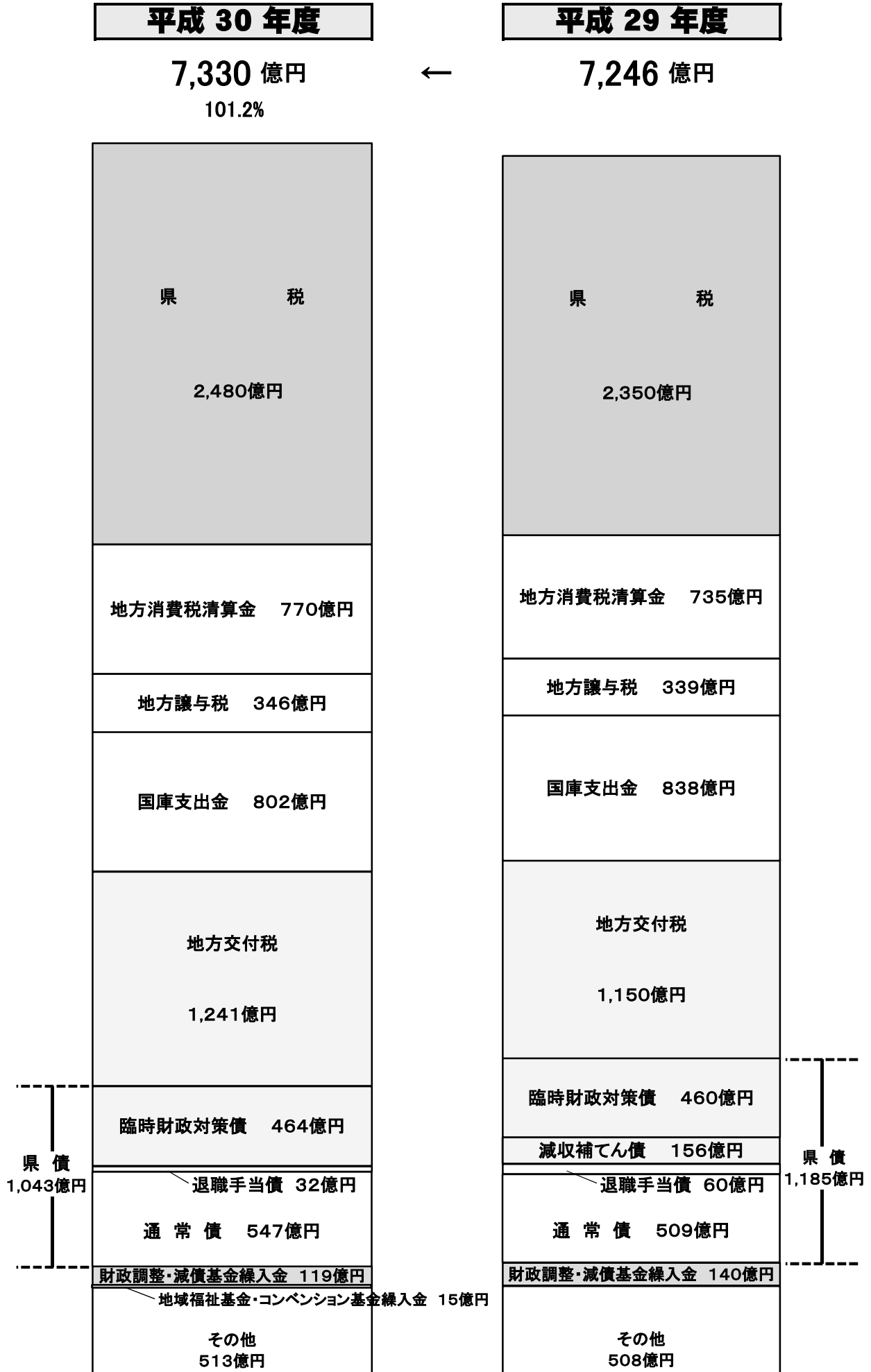
## 6. 歳出予算の概要(性質別予算額)

区 分	平成30年度 当初予算額 <small>※( )内は構成比</small>	平成29年度 当初予算額 <small>※( )内は構成比</small>	対前年比較		備 考
	千円	千円	千円	増減比率 %	
義 務 的 経 費	(48.9%) 358,570,916	(50.2%) 363,414,501	▲4,843,585	▲1.3	
人 件 費	(30.2%) 221,143,168	(31.1%) 225,273,932	▲4,130,764	▲1.8	・大学の法人化による運営費交付金(補助費)への移行に伴う減額 ▲1,760,200千円
退 職 手 当	(2.8%) 20,696,440	(3.0%) 21,610,996	▲914,556	▲4.2	
退 職 手 当 除 き	(27.3%) 200,446,728	(28.1%) 203,662,936	▲3,216,208	▲1.6	
扶 助 費	(4.4%) 32,171,689	(4.4%) 31,901,121	+270,568	+0.8	
公 債 費	(14.4%) 105,256,059	(14.7%) 106,239,448	▲983,389	▲0.9	
投 資 的 経 費	(15.2%) 111,110,602	(14.7%) 106,594,648	+4,515,954	+4.2	
公 共 事 業 費					
補 助 公 共 事 業	(3.2%) 23,137,000	(3.2%) 23,528,000	▲391,000	▲1.7	
単 独 公 共 事 業	(7.5%) 54,953,000	(8.1%) 58,836,000	▲3,883,000	▲6.6	
交 付 金 事 業	(4.5%) 32,667,000	(5.0%) 35,972,000	▲3,305,000	▲9.2	
純 単 独 事 業	(3.0%) 22,286,000	(3.2%) 22,864,000	▲578,000	▲2.5	
そ の 他 投 資 的 経 費	(4.5%) 33,020,602	(3.3%) 24,230,648	+8,789,954	+36.3	・建設事業に対する補助を含む
う ち コ ン ベ ン シ ョ ン 施 設 整 備	(1.5%) 10,839,208	(0.2%) 1,270,259	+9,568,949	+753.3	
う ち 県 有 施 設 等 長 寿 命 化 事 業	(0.3%) 2,040,000	(0.3%) 2,040,000	+0	0.0	
補 助 費 等	(27.9%) 204,438,276	(28.3%) 204,876,088	▲437,812	▲0.2	・国保会計設置に伴い補助費から繰出金へ移行した分の減額 ▲12,605,136千円
う ち 税 関 係 交 付 金 等	(12.6%) 92,520,669	(12.1%) 87,495,458	+5,025,211	+5.7	
そ の 他	(8.0%) 58,860,206	(6.9%) 49,677,763	+9,182,443	+18.5	・「貸付金」、「物件費」、「繰出金」、「積立金」など
合 計	(100.0%) 732,980,000	(100.0%) 724,563,000	+8,417,000	+1.2	
う ち、社 会 保 障 関 係 費	99,759,668	97,161,702	+2,597,966	+2.7	・「扶助費」+「補助費」+「繰出金」のうちの社会保障関係費の合計

(注) 1 計数整理の結果、異動することがあります。

2 構成比は、表示単位未満の四捨五入の関係で、合計と一致しない場合があります。

平成30年度当初予算 財源構成



平成30年度当初予算 歳出予算性質別内訳

**平成 30 年度**

**平成 29 年度**

7,330 億円  
101.2%

7,246 億円



人件費 2,211億円	退職手当 207億円
	退職手当除きの 人 件 費 2,004億円
単独公共事業 550億円	扶助費 322億円
	公債費 1,053億円
	補助公共事業 231億円
	交付金事業 327億円
	純単独事業 223億円
	その他投資的経費 330億円
	うちコンベンション施設整備 108億円 うち県有施設等長寿命化事業 20億円
	補助費等 2,044億円
	補助費等のうち 税関係交付金等 925億円
	その他 589億円

人件費 2,253億円	退職手当 216億円
	退職手当除きの 人 件 費 2,037億円
単独公共事業 588億円	扶助費 319億円
	公債費 1,062億円
	補助公共事業 235億円
	交付金事業 360億円
	純単独事業 229億円
	その他投資的経費 242億円
	うちコンベンション施設整備 13億円 うち県有施設等長寿命化事業 20億円
	補助費等 2,049億円
	補助費等のうち 税関係交付金等 875億円
	その他 497億円

## 7. 特別会計予算の概要

会 計 名	平成30年度 当初予算額 千円	平成29年度 当初予算額 千円	対前年比較 千円	備 考
母子父子寡婦福祉 資金貸付金	316,746	367,809	▲51,063	・母子・父子家庭や寡婦の方に、 生活の安定・向上のために資金を 貸し付け。
農業改良資金	66,455	78,128	▲11,673	・農業後継者を育成するため就農 支援資金を貸し付け。
県有模範林施設費	76,304	78,188	▲1,884	・県で所有している森林の管理、 経営、処分などを運営。
小規模企業者等設備導 入資金助成費	89,533	100,974	▲11,441	・中小企業者が共同して経営基盤 の強化や経営環境の改善に取り組 むための資金を貸し付け。
用地先行取得	1,403,004	1,693,051	▲290,047	・道路や県の施設を整備するた めに必要な土地の購入を実施。
収入証紙	6,656,454	6,397,117	+259,337	・県税や使用料、手数料などの収 入に用いる群馬県証紙の発行など を実施。
林業改善資金	514,126	424,109	+90,017	・林業経営の開始、林業従事者の 安全の確保等のための資金を貸し 付け。
流域下水道事業費	9,467,567	8,751,700	+715,867	・原則2つ以上の市町村にまたが る流域下水道の建設・管理を県が 実施。
公債管理	92,656,505	91,450,856	+1,205,649	・満期一括償還方式である市場公 募債の発行、償還などを実施。
中小企業振興資金	39,744,443	49,834,238	▲10,089,795	・中小企業者が有利な条件で金融 機関から融資を受けられる制度を 運営。
新エネルギー	4,449	3,887	+562	・県有施設に設置した太陽光発電 施設の維持・管理を実施。
国民健康保険	184,346,882	—	+184,346,882	・市町村から納付金を徴収し、保 険給付費として市町村に交付する など、県が国民健康保険の財政運 営を実施。
合 計	335,342,468	159,180,057	+176,162,411	

## 8. 企業会計予算の概要

会計名	区分		平成30年度	平成29年度	対前年比較	備考	
			当初予算額	当初予算額			
			千円	千円	千円		
電 事 業 会 計	収益的 収 入	収 入	8,577,515	7,657,305	+920,210	・発電事業及びその附帯事業並びに電源開発に関する調査を行うもので、水力・火力・風力・太陽光、合わせて36発電所を稼働。	
		支 出	7,242,409	7,146,281	+96,128		
	資本的 収 入	収 入	325,361	1,025,631	▲700,270		
		支 出	4,669,879	4,360,107	+309,772		
工 業 用 水 道 事 業 会 計	収益的 収 入	収 入	2,095,145	2,104,896	▲9,751	・工業用水供給事業及びその附帯事業並びに工業用水に関する調査を行うもので、渋川工業用水道及び東毛工業用水道を運営。	
		支 出	1,879,926	1,967,136	▲87,210		
	資本的 収 入	収 入	485,114	1,503,104	▲1,017,990		
		支 出	1,283,622	2,287,095	▲1,003,473		
水 事 業 会 道 計	収益的 収 入	収 入	7,179,341	7,422,583	▲243,242	・水道用水供給事業及びその附帯事業並びに水道用水に関する調査を行うもので、県央第一、新田山田、東部地域及び県央第二の4水道を運営。	
		支 出	5,912,406	6,284,302	▲371,896		
	資本的 収 入	収 入	868,109	1,643,123	▲775,014		
		支 出	5,132,923	4,443,865	+689,058		
団 地 造 成 計	収益的 収 入	収 入	6,943,065	7,063,023	▲119,958	・産業団地の用地取得・造成・分譲、住宅団地の分譲。	
		支 出	5,974,124	5,932,668	+41,456		
	資本的 収 入	収 入	637,361	1,218,933	▲581,572		
		支 出	2,978,596	2,703,756	+274,840		
駐 車 場 計	収益的 収 入	収 入	2,555,174	128,884	+2,426,290	・高崎駅西口のウエストパーク1000の運営。	
		支 出	2,555,174	128,884	+2,426,290		
	資本的 収 入	収 入	0	116,818	▲116,818		
		支 出	20,319	138,194	▲117,875		
施 設 管 理 計	収益的 収 入	収 入	939,265	930,735	+8,530	・群馬ヘリポート格納庫の賃貸、群馬県公社総合ビルの賃貸及び県営ゴルフ場の運営。	
		支 出	871,975	808,185	+63,790		
	資本的 収 入	収 入	29,160	50,000	▲20,840		
		支 出	828,767	436,657	+392,110		
病 業 会 院 計	収益的 収 入	収 入	29,836,100	29,568,440	+267,660	・各専門分野における高度医療部門を受け持ち、心臓血管センター、がんセンター、精神医療センター、小児医療センターの4病院を運営。	
		支 出	30,714,870	30,315,682	+399,188		
	資本的 収 入	収 入	2,662,558	3,014,822	▲352,264		
		支 出	4,156,013	4,354,480	▲198,467		
合 計	収 入	63,133,268	63,448,297	▲315,029			
	支 出	74,221,003	71,307,292	+2,913,711			